



本日の
プログラム

就任挨拶(1) 会長、副会長、幹事

(夜間例会) 退任挨拶 井上善博 会長 他 18:00 ~
(於) 札幌パークホテル

井上 善博 会長

一年間にわたり皆様からの温かいご指導、ご鞭撻をいただき心から感謝申し上げます。有難うございました。今年度は「ロータリーの奉仕理念を念頭に行動しよう」をテーマに「ロータリーの重点分野を意識し、すべての人と社会が持続可能な豊かさを実現することを目指しSDGs運動を推進しよう」をサブテーマに活動を進めて参りました。

ロータリーの奉仕活動の根幹に、多様性、公平さ、インクルージョンをあらゆる場面に取り入れることを心掛けました。ロータリーにとって最も重要な例会の運営にあたり、S.A.A.の皆様には、コロナ対策をしっかりとしながら采配していただき、万が一のこともなく無事にすべての例会を開催することができました。また、例会プログラムについては、我がクラブの新会員卓話はじめ、具体的にSDGsの目標解決の取り組みに関連するテーマでプログラムを組んでいただきました。持続可能な社会の実現に向けてのテーマに沿ったプログラムを構成いただいたと感謝しております。また、会報、広報の皆さんには、新型コロナ感染症対策として実施したユーチューブ配信などの大変なご負担をかけました。

今年度のスタート時には、新型コロナウィルス感染症の感染拡大の影響で、早々に月寒川にぎわい川まつりの開催が中止され、さらに8月18日に企画した残暑親睦家族会が中止、そして12月22日に予定していた年末親睦家族会が急遽延期決定を余儀なくされました。親睦活動委員長はじめ親睦活動委員会・S.A.A.など関係した委員会にご苦労をいただき、新年親睦家族会を開催することができました。久しぶりの職場訪問では、北海道ボールパークFビレッジ、ホクレンくるるの杜を訪問し、担当責任者からのお話を伺い美味しい食事をいただき貴重な体験ができました。

社会奉仕事業では、ろう者とのフットサル交流会、ユニバーサルカーリング大会、花園学院訪問と青少年奉仕事業と絡めてコロナ対策をとりながら北海高校インターアクトボランティアクラブとの交流、そして共同による奉仕活動も全てを実施できました。参加者から来年も楽し

みにしているよとの言葉をいただきており、有意義な活動であったと考えています。イベントのたびに不動会員の飲料水、坂口会員のラーメンセット、小川会員のクリーニングセットなどでご協力をいただきており、村重会員、上田会員にも実行サポートをしていただき感謝に堪えません。

寄付活動につきましては、詳細は決算において報告させていただきますが、当クラブの奉仕活動の資金となるニコニコは140万円、ポリオの撲滅、平和の推進、発展途上地域の自立促進、教育支援など、意義ある目的に活用されるロータリー財団への寄付は10,630ドル、米山奨学会には101万円の寄付をいただきました。

このように、今年度の奉仕事業計画がすべて運営に当たられた理事役員をはじめ各委員会の活動により無事に終了することができたことに改めて感謝申し上げます。また、積年の課題であった2510地区ガバナー補佐の任務に、60代会長を務められた山口史朗会員がお引き受けください次年度から本格活動されます。しっかりとバックアップしなければと考えており、皆様のご協力をお願いする次第です。

最後に、「ロータリーの使命は、職業人として地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです」とあります。ロータリーを定義づける中核的価値観(Core Values)は、親睦(Fellowship)・高潔性(Integrity)・多様性(Diversity)・奉仕(Service)・リーダーシップ(Leadership)を求めていきます。今後も良き仲間とともに、過去を敬い、未来を見据えながら時代に即した組織とするだけでなく、発展することを目指して活動していきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。



■本日のロータリーソング

君が代、四つのテスト

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

「世界に希望を生み出そう」

国際ロータリー会長:ゴードン R.マッキナリー



CREATE HOPE
in the WORLD

関根光晶 副会長・クラブ奉仕委員長

井上会長年度、副会長・クラブ奉仕委員長を拝命致しました関根でございます。

退任にあたりまして一言お礼申し上げます。この度の副会長任務は私が第58代白石会長年度幹事をさせていただいた時の副会長に井上会長が務められ、そのご縁もあり微力ながらお手伝いさせていただきました。一年過ごし結果としては何も形には残せなく、残念ではありますが各委員長さんの努力により色々な奉仕事業ができたことに感謝致します。

新型コロナにより各委員会活動も制限される時期もありましたが、親睦FSMもたくさん開催され、会長幹事もお身体に負担をかけたことと思います。私自身も今年1月にコロナ感染してしまい井上会長の体調不良と重なり例会を欠席し大事な例会進行も務められなく残念な時もありましたが、沖田副会長が無事に務めていただき感謝しております。

改めましてクラブ奉仕各委員長の皆さんには一年間大変お世話になりました。

感謝の気持ちを込めてお礼申し上げます、ありがとうございました。



沖田俊弥 副会長・職業奉仕委員長

井上会長年度の副会長を退任するにあたりひとことご挨拶を申し述べます。

井上会長から私に副会長のオファーがありましたのが一昨年の夏でした。決して熱心で真面目な会員とはいがたい私にはなぜ?の疑問が頭から離れることなく、しかし井上会長の熱意にほだされてお引き受けすることとなりました。

井上会長年度では、井上会長の持ち前の情熱でエポックメイキングとも呼べるいくつもの改革を実行されました。こうした改革の断行を目の当たりにすることができたのは私にとって貴重な財産です。また会長を陰に日向に支える小山幹事、常に細やかな気配りを忘れない関根副会長からも大いに勉強させていただきました。副会長としての働きが及第点かどうか怪しいのですが、役員・理事をはじめ会員の方々のサポートによりなんとか副会長の職を終えることができました。感謝申し上げます。なお、会員の減少

が大きな課題です。すでに会員さんにもいらっしゃいますが事業を起業する若手経営の方々が進んで入会を希望するような札幌東ロータリークラブになりますように和田会長年度でも微力を尽くして参りたいと思います。

ありがとうございました。



小山 茂 幹事

井上会長、病気との戦いを続けながら、会長職の大役を果たされ、本当にお疲れさまでした。井上会長年度で成果を列挙すると、①女性会員の入会、②例会35回開催、③計画運営(財団・米山・各奉仕事業)を行うことができました(夏の親睦家族会は中止)。

以上、幹事として、井上会長の右腕となれたかどうかは疑問ですが、関根副会長、沖田副会長をはじめ、理事・委員長の皆様には大変お世話になりました。また、会員の皆様のご協力により、1年間無事に終了できましたことをここに感謝申し上げます。

次年度は65周年を迎えるロータリー情報委員長として、和田会長、出倉副会長、岡澤副会長、そして伏木幹事に微力ながら、ご協力させていただきます。

最後に、札幌東ロータリークラブを支えていただいているピアノの渡部先生、札幌パークホテルの皆様、そして塩谷さん1年間ありがとうございました。

